

対応状況報告書

大 学 名：光産業創成大学院大学

評価実施年度：令和4年度

報告年度：令和7年度

対象となる基準	基準 5-3
改善を要する点	○光産業創成大学院大学（博士後期課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	現時点では改善された状況にあると判断していない。 （令和3年度から令和7年度までの入学定員自充足率の平均は0.56倍である。） ただし、令和3年度入学者数7名、令和4・5年度は6名、令和6年度は3名となっておりますが、学生募集のための広報活動やプログラムの見直し等により、令和7年度において合格者は7名で、入学辞退者1名となったため、入学者は6名となっております改善傾向にあると考えられる。

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。